

市道橋梁の被災状況調査を行う 第2次道路災害調査隊の派遣について ～6月18日から5班55名を派遣します～

国土交通省では、岩手・宮城両県からの調査支援要請を受け、被災が特に激しい宮城県栗原市域の国道398号及び市道、岩手県一関市域の市道について、被災状況把握のため、6月16日から2日間、調査隊を派遣し、被災状況調査を行っております。

これまでの調査結果より、橋梁について、専門的視点による被災状況調査の必要性が判明したことから、6月18日より2日間、5班55名の第2次調査隊を派遣し、全市道橋の内、被災橋梁及び被災を受けたことが想定される橋梁約300橋の現地調査を実施します。

1. 第2次調査隊メンバー：
東北地方整備局、(社)建設コンサルタンツ協会東北支部、
(財)道路保全センターのメンバーによる5班、55名を派遣。
(宮城県栗原市：3班、岩手県一関市域：2班)
2. 調査内容：
宮城県栗原市域、岩手県一関市域の市道橋梁の内、被災橋梁及び被災を受けたことが想定される橋梁約300橋について、被災状況調査を実施します。
3. 調査報告：
後日関係機関へ調査結果の報告を行います。
調査報告の日時が決定しだいお知らせいたします。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

東北地方整備局 TEL：022-225-2171（代）
住所：仙台市青葉区二日町9-15
電話：022-225-2171（代）
企画部 企画調整官 よしだとしはる 吉田敏晴（内線：3112）
道路部 道路調査官 あべ さとる 阿部 悟（内線：4113）